

## 令和5年度 野辺地高等学校 自己評価資料【職員アンケート】 21名提出

以下の項目について、  
 (4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 どちらかというとは思う 1 そうは思わない)  
 のいずれかの数字を記入してください。なお、2や1の評価をした項目について、その理由や改善策を下の備考欄に自由に記述してください。

	項目	番号	観 点	評 価 規 準	R5年度 評価平均値	R4年度 評価平均値
1	教育目標・経営方針・学校課題等	1.1	教育目標・学校課題	学校の実態に即した、学校経営方針（教育目標・重点目標）となっている。	3.48	3.57
		1.2	経営方針	教職員の協力により、円滑な学校運営がなされている。	3.62	3.71
		1.3	特色ある学校づくり	学校及び類型（Ⅰ型・Ⅱ型）の特色が明確になっている。	3.33	3.33
2	組織運営	2.1	校務分掌編成	分掌組織は、学校の実態に基づいて編成され組織的に機能し、分掌間の協力体制が図られている。	3.52	3.71
		2.2	分掌の活動	各分掌は活動記録・会議録・資料を適切にまとめ、組織的・計画的に評価を行い、改善・充実を図っている。	3.52	3.67
		2.3	管理職の指導体制	教職員が職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努力している。	3.38	3.62
3	事務・経理	3.1	施設整備・充実	施設・設備等は適切に整備・保全し、使用後の管理も適切である。	3.71	3.81
		3.2	金銭・物品の管理	金銭の支払いや物品の管理を適正に行っている。	3.86	3.86
		3.3	経費節減	経費節減や環境問題等に配慮して、学校全体で省エネルギーに取り組んでいる。	3.52	3.67
4	教職員の姿勢・意識	4.1	教職員のサービスに対する姿勢・意識	教職員としての自覚と誇りをもち、意欲的に職務に取り組んでいる。	3.62	3.71
		4.2	生徒の指導に対する姿勢・意識	生徒の人権を重んじ、生徒一人一人の理解を深める努力をしている。	3.67	3.67
		4.3	創意工夫・研修意欲	生徒の実態を把握し、個に応じた学習指導を心がけて研修に努め、指導方法を創意工夫している。	3.57	3.76
5	安全管理・危機管理体制	5.1	安全の確保	生徒の安全を確保するために、設備の点検や生徒への注意喚起を適切に行っている。	3.81	3.90
		5.2	緊急時の対応	防災マニュアルが整備され教職員に周知徹底されているとともに、家庭や関係諸機関への連絡体制が確立している。	3.62	3.81
6	地域社会との連携・開かれた学校づくり	6.1	中学校等との連携	教育課程及び学校生活の内容等に関して、中学校の生徒や保護者・教職員にわかりやすく示している。	3.57	3.71
		6.2	学校評価への取組	学校評価の結果を、教職員や保護者・地域社会に対して公開し、共通理解を図り学校課題への取り組みに生かしている。	3.52	3.71
		6.3	説明責任	教育目標や指導方針、具体的な活動について生徒や保護者に説明をしている。	3.43	3.52

	項目	番号	評価規準	R5年度 評価平均値	R4年度 評価平均値
7	教務	7.1	授業時数の確保に努め、教育課程の円滑な運営をしている。	3.62	3.81
		7.2	生徒一人一人の可能性を最大限に引き出す教育活動を推進している。	3.52	3.62
		7.3	生徒個々の進路希望を生かしたカリキュラムを研究し、「総合的な探究の時間」を充実させている。	3.52	3.81
		7.4	校内外における研修や研究授業を推進している。	3.76	3.57
		7.5	教務部内の業務に工夫・改善を加え、充実させている。	3.33	3.57
		7.6	生徒や職員が利用しやすい図書館の環境づくりを行っている。	2.95	2.70
		7.7	業務の要・不要（代替の可能性）を意識し、見直しを行っている。	3.14	3.43
8	生徒指導・環境 厚生	8.1	社会の一員としての好ましい生活態度を身につけさせ、学校全体の学習環境づくりに勤めるとともに、地域から愛される野高生を育てている。	3.67	3.95
		8.2	社会生活を営む上で、様々な個性を持つ人々と共に生きていかなければならないことを理解させ、特定の集団や人間関係に執着せず、様々な生徒と良好な関わりを持つようとする意識と態度を育てている。	3.71	3.95
		8.3	望ましい集団活動や体験的な活動を通して、実社会で生きて働く社会性を身につけるとともに、人間関係形成能力を育てている。	3.67	3.62
		8.4	様々な問題や悩みを抱える生徒の早期発見と個々の生徒の状況に応じた適切な指導や支援が行えるよう、教育相談委員会を中核とした組織的な対応を実施している。	3.67	3.81
		8.5	業務の要・不要（代替の可能性）を意識し、見直しを行っている。	3.67	3.71
9	進路指導	9.1	学ぶことと自己の将来とのつながりを見通したキャリア教育を推進している。	3.62	3.81
		9.2	適切な自己理解と進路研究に基づく、個々の適性に応じた進路選択の実現を推進している。	3.81	3.76
		9.3	集団や個人の必要性に柔軟に対応した、全教職員による指導体制を構築している。	3.76	3.86
		9.4	地域や保護者、関係機関との円滑な連携を推進している。	3.62	3.71
		9.5	業務の要・不要（代替の可能性）を意識し、見直しを行っている。	3.67	3.76
10	渉外	10.1	P T A活動の充実と学校諸活動の正確かつ迅速な情報提供をしている。	3.67	3.67
		10.2	諸会計の予算の編成及び、支出を適正に行っている。	3.71	4.00
		10.3	P T A活動・後援会活動・同窓会活動の相互の連携を図っている。	3.71	3.86
		10.4	学校創立100周年への準備を適正に行っている。	3.71	
		10.5	業務の要・不要（代替の可能性）を意識し、見直しを行っている。	3.57	3.62
11	1学年	11.1	自主的・計画的に学習する態度を身に付けさせている。	3.38	3.33
		11.2	基本的な生活習慣を確立し、社会性・道徳性を身に付けさせている。	3.62	3.38
		11.3	集団生活を通して、コミュニケーション能力を育成している。	3.52	3.33
		11.4	進路目標の確立に向け、適切な進路指導を行っている。	3.62	3.48
		11.5	業務の要・不要（代替の可能性）を意識し、見直しを行っている。	3.67	3.57
12	2学年	12.1	自主的・計画的に学習する態度を育成している。	3.43	3.52
		12.2	基本的な生活習慣を確立させ、社会性・道徳性を育成している。	3.62	3.71
		12.3	集団生活を通して、コミュニケーション能力を育成している。	3.62	3.76
		12.4	進路目標を確立させ、その達成に必要な力を育成している。	3.57	3.62
		12.5	業務の要・不要（代替の可能性）を意識し、見直しを行っている。	3.67	3.57
13	3学年	13.1	自主的・計画的に学習する態度を身に付けさせている。	3.52	3.62
		13.2	基本的な生活習慣を確立し、社会性・道徳性を身に付けさせている。身に付けさせている。	3.67	3.71
		13.3	多様な人格をお互いに尊重させ、良好な人間関係を構築できる能力を育成している。	3.52	3.71
		13.4	進路志望の実現のために必要な能力や情報を研究・分析させ、自発的に行動する姿勢を身に付けさせている。	3.67	3.76
		13.5	業務の要・不要（代替の可能性）を意識し、見直しを行っている。	3.67	3.62
				3.59	3.67